

## ケース学習（30代の蓄膿に悩む男性）／前分析と分析

### <前分析>

①印象＝素朴・実直・現実的仕事人

②健康度（0～10）＝7～8

③予後（良いレメディがある時／レメディがない時）は、どうなるか？

■良いレメディがあれば＝蓄膿・扁桃腺炎、ヘルニアは良くなり、疲れてもダウンしないで、仕事に邁進して行ける。その背景として精神的にも目的に向かって行動し、周りを引っ張って行くようになる。

■レメディがない時＝身体症状は続き、年齢とともに疲弊が激しくなり、仕事を遂行が出来なくなる時期が早めに訪れる。

④救急性（急性か慢性か～救急性があれば、そこから始める）＝慢性

⑤治癒を妨げているものは？＝ない。

⑥親和性（部位）＝鼻・喉・腸・全身

⑦マヤズム傾向（Psora Syphilis Cancer TB）＝Psora 的

⑧全体性（レメディはいくつ必要になるか？）＝1つ

⑨バイタリティー＝やや強い。

### <本分析>

全体を見渡すとこの方の特徴は・・・

#### 身体面＝

1. 鼻・喉が弱く、発熱しやすい。
2. 頑健な肉体労働者なのに、疲労がたまると衰弱し、悪化しやすい。  
つまり、「強さと弱さを合わせ持っている」ところが特徴的。

#### 精神面＝総じて健全。特徴的な点は・・・

3. 目的に向かってわき目もふらず突き進むタイプ。責任感も強く、物事を遂行して行く能力も実行力もある。
4. 堅くて真面目すぎて頑固なため周りとの協調性には欠ける。
5. 自分と家族のためだけでなく、家業を引き継ぎ次に渡すという「家」への責任を果たすと同時に、生産者と消費者をつなぐ仕事を成し遂げることで、「社会」への貢献をしてゆくことが、「自分の役割」だと考えて、その実現のために行動している。
6. 四大元素では、「土」の人。現実的で、行動力があり、地に足が着いている。

こういう全体像を持ったレメディを探す。

以上